



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月10日

上場会社名 ULSグループ株式会社 上場取引所 東  
コード番号 3798 URL <https://www.ulsgroup.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 漆原茂  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 高橋敬一 TEL 03-6220-1416  
四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

百万円未満切捨て

### 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	2,378	29.8	563	28.9	563	29.4	367	△15.4
2023年3月期第1四半期	1,831	10.7	436	△10.6	435	△11.1	434	30.8

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 381百万円 (△14.4%) 2023年3月期第1四半期 445百万円 (32.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	66.93	66.53
2023年3月期第1四半期	77.94	76.93

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	9,168	7,914	83.2	1,388.27
2023年3月期	9,564	7,771	78.4	1,365.64

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 7,626百万円 2023年3月期 7,501百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	45.00	45.00
2024年3月期	-	-	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	0.00	-	45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,050	18.0	1,850	7.1	1,850	7.2	1,234	0.0	224.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は年次で業績管理を行っているため、第2四半期連結累計期間の業績予想の記載は省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1 Q	6,220,800株	2023年3月期	6,220,800株
② 期末自己株式数	2024年3月期1 Q	727,621株	2023年3月期	727,580株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1 Q	5,493,213株	2023年3月期1 Q	5,573,427株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（金額の表示単位の変更について）

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、当第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結累計期間より百万円単位をもって記載することに変更しました。

なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第1四半期連結累計期間についても百万円単位に組替え表示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、6月日銀短観における大企業全産業のD I（業況判断指数）が13と前回3月調査から3ポイント改善するなど、一部に原材料価格の高止まりや人手不足に対する懸念はあるものの、一段と社会経済活動が正常化し景況感の改善が進んでいます。

一方、当社の属する情報サービス業界については、2023年度設備投資計画等（同短観）における大企業全産業のソフトウェア投資額が、前回調査の前年度比6.0%増加から12.4%増加に急拡大するなど、いわゆるDX（デジタルトランスフォーメーション）を推し進める企業を中心にIT投資への積極姿勢は衰えておらず、2023年度もIT投資の拡大基調の継続が見込まれます。

このような経営環境の下で、当第1四半期連結累計期間の経営成績は下記のとおりとなりました。

売上高	2,378百万円	（前年同期比29.8%増）
営業利益	563百万円	（前年同期比28.9%増）
経常利益	563百万円	（前年同期比29.4%増）
親会社株主に帰属する 四半期純利益	367百万円	（前年同期比15.4%減）

当第1四半期連結累計期間の業績において特筆すべき事項は下記のとおりです。

①当第1四半期連結累計期間の売上高は、金融、情報通信、製造及びサービス業等を中心とする既存顧客からの旺盛な需要継続とコンサルタント採用数の堅調な伸長、並びに前年同期に発生した収益認識に関する会計基準における原価回収基準適用案件（当第1四半期連結累計期間に対応する原価のみを売上計上した案件）が当第1四半期連結累計期間は僅少だったことから、前年同期比546百万円増加（29.8%増）の2,378百万円となり、第1四半期連結累計期間としては過去最高を更新しました。

②採用活動については、当第1四半期連結会計期間末のコンサルタント数（注）は456名と好調な進捗となり、前連結会計年度末比で35名（8.3%）の増員、また前年同期末比で75名（19.7%）の増員を実現しました。

（注）コンサルタント数・・・コンサルティング事業に携わるコンサルタント数（当社グループへの出向者を含み、当社グループ外への出向者を含まないコンサルタントの人数）

③営業利益及び経常利益については、積極的なマネジメントや管理部門の増員及びコンサルタントの採用活動に伴う採用費・人件費の増加をはじめとする人的資源への成長投資の加速はあったものの、前述①の売上高の堅調な拡大により当第1四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益は、それぞれ563百万円（前年同期比28.9%増）、563百万円（前年同期比29.4%増）となり、第1四半期連結累計期間としては過去最高を更新しました。

④親会社株主に帰属する四半期純利益については、前年同期で計上した保有投資有価証券の一部売却に伴う投資有価証券売却益（特別利益）197百万円と同様の特別利益の計上が当第1四半期連結累計期間ではなかったことから、367百万円（前年同期比15.4%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### 資産、負債及び純資産の状況

総資産は、主に前連結会計年度末の売掛金及び契約資産の回収が進んだことにより、前連結会計年度末比4.1%減少の9,168百万円となりました。

また、負債については、主に前連結会計年度末計上の未払法人税等の支払いや夏季賞与の支払いにより、前連結会計年度末比30.0%減少の1,254百万円となりました。

純資産は、主に当第1四半期連結累計期間に係る親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により前連結会計年度末比1.8%増加の7,914百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績はほぼ計画通りとなっており、現時点では2023年5月12日に公表しました業績予想に変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,603	5,947
売掛金及び契約資産	2,780	2,045
仕掛品	—	4
その他	54	58
流動資産合計	8,438	8,056
固定資産		
有形固定資産	166	152
無形固定資産		
のれん	74	71
その他	7	7
無形固定資産合計	82	78
投資その他の資産		
投資有価証券	453	458
その他	424	421
投資その他の資産合計	877	880
固定資産合計	1,126	1,111
資産合計	9,564	9,168
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	179	155
未払費用	284	179
賞与引当金	614	192
未払法人税等	405	191
その他	308	535
流動負債合計	1,792	1,254
負債合計	1,792	1,254
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	873	873
資本剰余金	1,273	1,273
利益剰余金	6,441	6,561
自己株式	△1,092	△1,093
株主資本合計	7,495	7,616
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5	9
その他の包括利益累計額合計	5	9
新株予約権	66	74
非支配株主持分	204	214
純資産合計	7,771	7,914
負債純資産合計	9,564	9,168

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	1,831	2,378
売上原価	1,095	1,374
売上総利益	735	1,004
販売費及び一般管理費	298	440
営業利益	436	563
営業外収益		
その他	0	0
営業外収益合計	0	0
営業外費用		
自己株式取得費用	2	—
その他	0	0
営業外費用合計	2	0
経常利益	435	563
特別利益		
投資有価証券売却益	197	—
新株予約権戻入益	0	—
特別利益合計	197	—
税金等調整前四半期純利益	633	563
法人税等	192	185
四半期純利益	440	377
非支配株主に帰属する四半期純利益	6	10
親会社株主に帰属する四半期純利益	434	367

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	440	377
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	3
その他の包括利益合計	4	3
四半期包括利益	445	381
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	439	371
非支配株主に係る四半期包括利益	6	10

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。